相浦西小学校
大崎分校通信
「前期終業式」号

大崎っ子

平成３０年１０月５日
文責：教頭　松尾勝則

「自ら」でがんばった前期　～前期終業式を迎えて～

今日で前期の学習が終わります。４月、教頭先生はみなさんに「いろいろなことにチャレンジしてほしい」というお話をしました。「これは苦手だから・・」とか、「私にはできないし・・」と初めから決めてしまうのではなく、「まずは考えてみよう」「まずは動いてみよう」そして、いろいろなことにチャレンジしてみようという内容でした。

１年生のみなさん。みなさんは４月に大崎分校に入学してから、毎日が新しいことの連続でした。初めての勉強や初めてすること、いろいろありましたね。でも、１年生のみなさんは、どんなことに対しても、一生懸命チャレンジしていました。よくがんばりましたね。

２年生のみなさん。２年生のみなさんは、１年生という新しい仲間に対して、「これはこうするんだよ。」と、２年生として自分から進んで声をかけ、いろいろなことを教えてくれました。２年生として立派な活躍でした。

３・４年生のみなさん。３・４年生のみなさんは、毎朝とっても元気なあいさつをしてくれました。みなさんの元気のよい挨拶は、大崎分校をとっても元気にしてくれました。そしてなにより、大崎分校の伝統でもある「あいさつ運動」を引き継いでくれています。

５・６年生のみなさん。みなさんは何といっても、大崎分校のリーダーとして、前期の学習や活動に「チャレンジ」することができましたね。はじめはうまくいかず、悩んだりあきらめたりしたこともあったでしょう。それでも、少しずつ大崎分校のリーダーとして、「自ら考え、自ら動く」ことを考える場面が増えてきたように思います。特に、９月に行われた運動会では、「自分たちが進んで行う」という思いが強く伝わりました。今まで、「自ら動く」と言い続けていたことを実践してくれたことが素晴らしかったです。

今日は、みなさんのこれまでの頑張りが記された「通知表」が担任の先生から渡されます。それぞれの先生方から、「こんなことをがんばったね」「こうしたらもっとよくなるよ」という話もあると思います。家でも、前期頑張ったことを家の人と一緒に話をしてくださいね。

しかし、課題も見つかりました。それは、あいさつです。３・４年生が頑張ってくれているあいさつですが、大崎分校の伝統となっている朝のあいさつ運動が、まだ定着していないのです。この素晴らしい伝統は、次へとつながなければいけません。今のままでは、大崎分校の伝統が途絶えてしまいます。

後期は、まず自ら進んで、当たり前のことを当たり前に行いましょう。そして、当たり前のことを当たり前にできるようになって、大崎分校が目指している自らできる「ちょボラ」と「発表」を実行しましょう。

大崎分校のみなさん。前期頑張ってきたことに自信をもってください。そしてその自信を胸に、後期を迎えてください。

（教頭終業式の話より）

みんなの大崎分校～保護者の皆さん・地域の皆さん　ありがとうございました～

大崎分校の子供たちをいつも励まし、そして温かく見守ってくださりありがとうございました。また、学校行事や様々な活動におきまして、多大なるご協力をいただき大変感謝しております。

子供たちは今日、通知表を持ち帰りますので、これまでの頑張りについて、「頑張ったね」の一言をかけていただくとともに、励ましの声をかけていただければと思います。

後期もどうぞよろしくお願いいたします。

